

講義名	eラーニング (時間)	スクーリング (時間)	講師(敬称略)
講座名【医療・保健・福祉をめぐる社会動向】			
我が国における医療・保健・福祉サービスの需要と供給について、基礎データから臨床に関する諸問題を解説し、医療的、福祉的、経済学的見地から、そのしくみを学ぶ。			
医療・介護制度の動向	3		川越 雅弘(埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究所) (兼 研究開発センター)
地域ケアにおけるサービス供給の課題	2		備酒 伸彦(神戸学院大学 総合リハビリテーション学部)
社会福祉行政のあり方	3		高森 聖人(一般社団法人虹色・大分県作業療法協会)
医療経済学	5		近藤 真司(大阪公立大学大学院 経済学研究所)
講座(計)	13	—	
講座名【地域ケアにおけるICT活用とリテラシー】			
地域包括ケアを推進する上で情報技術の活用が推奨されている。その効果を適切に享受するために必要なICT知識と情報倫理について学ぶ。			
セキュリティの基本	5		宮本 貴朗(大阪公立大学大学院 情報学研究所)
ICTのヘルスケアへの活用	3		菅野 正嗣(大阪公立大学大学院 情報学研究所)
医療倫理と情報活用	3		紀平 知樹(兵庫県立大学 看護学部)
ポストコロナにおけるリハ職の役割	1		北風 晴司(前:日本電気株式会社 医療ソリューション事業部) (現:エヌウインド)
在宅ケアにおけるICTと社会資源の活用		2	大濱 江美子(大阪市立総合医療センター)
講座(計)	12	2	
講座名【組織マネジメント】			
組織やプロジェクトグループのマネジメントスキルに関する理論と実践について学ぶ。			
組織のマネジメント	3		澤田 辰徳(東京工科大学 医療保健学部)
起業の組織マネジメント	3		谷 隆博(株式会社かなえるリンク)
システム思考で業務姿勢の振り返りを	1		辻 洋(大阪府立大学名誉教授) (元:大阪府立大学学長)
プロジェクトを成功に導くためのリーダーシップ		4	広瀬 正(大阪公立大学)
総合演習		2	樋口 由美・淵岡 聡・横井 賀津志・田中 寛之 (大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究所)
講座(計)	7	6	
講座名【社会資源の活用_基礎】			
地域で患者や高齢者、障害者が活用しうる社会資源及び、関係機関・組織との連携に関する理論・基礎知識を学ぶ。			
地域福祉の理論	3		小野 達也(桃山学院大学 社会学部)
障害者支援の社会資源	3		田垣 正晋(大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科)
在宅医療体制の整備とソーシャルアクション	4		山中 京子(コラボレーション実践研究所・大阪府立大学名誉教授)
ソーシャルキャピタルの活用	1		横井 賀津志(大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究所)
障害者スポーツと社会参加	2		片岡 正教(大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究所)
講座(計)	13	—	
講座名【社会資源の活用_実践】			
地域で患者や高齢者、障害者が活用しうる社会資源の活用方法を知り、関係機関・組織との連携方法について学ぶ。			
行政機関・組織との連携について	4		逢坂 伸子(大東市保健医療部高齢介護室)
認知症の人を支える地域づくり	3		梅本 政隆(元:大牟田市保健福祉部健康福祉推進室) (現:株式会社地域創生Coデザイン研究所)
地域で精神障害者を支えるために	4		三家 英明(医療法人三家クリニック)
自助・互助の枠組みづくり	1		高畑 進一(京都橋大学 健康科学部)
自助グループ、ボランティアとの連携	1		河合 晶子(三重県こころの健康センター)
講座(計)	13	—	

講義名	eラーニング (時間)	スクーリング (時間)	講師(敬称略)
講座名【在宅医療・人生の最終段階における医療】			
在宅医療・人生の最終段階における医療における医療従事者のあり方を学び、かかりつけ医とメディカルスタッフとの連携、リハビリ専門職の役割について考える。			
ものがたりの街と地域医療		2	佐藤 伸彦(医療法人社団ナラティブホーム ものがたり診療所)
在宅医療の実際	3		白山 宏人(医療法人拓海会 大阪北ホームケアクリニック)
終末期がん患者の看取りケア(理論)	3		岡本 双美子(大阪公立大学大学院 看護学研究科)
在宅ターミナルケアの実際		2	稲葉 典子(西宮協立訪問看護センター)
総合演習		2	樋口 由美・淵岡 聡・横井 賀津志・田中 寛之 (大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科)
講座(計)	6	6	
講座名【在宅ケアにおける予後予測】			
在宅療養する難病患者、障害児・者、要介護高齢者の機能的予後に関する知識を深め、適切な予後予測に基づく対処方法について学ぶ。			
内科領域における予後予測	3		今城 保定(医療法人今城クリニック)
精神科領域における予後予測	4		関 晋太郎(医療法人三家クリニック みつや訪問看護ステーション)
理学療法視点と介護予防	3		吉良 健司(在宅りはびり研究所・株式会社らいさす)
作業療法視点と難病支援	3		小林 貴代(森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部)
急性期病院からの退院後支援	1		上田 哲也(大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科)
講座(計)	14	—	
講座名【訪問リハとリスクマネジメント】			
多様化する訪問リハビリテーションを行う上での医学的、対人的、労働環境的リスクと、その対応方法について実践的事例を通じて学ぶ。			
在宅看護学における患者・家族への関わり方(基礎)	2		松下 由美子(甲南女子大学 看護学研究科)
医学的リスクマネジメント	3		川見 清豪(リハビリ訪問看護ステーションファミリア)
対人関連のリスクマネジメント	2		藤堂 恵美子(医療法人マックスシール 異病院訪問看護ステーション)
訪問リハビリテーションの実践事例(身体障害領域)	3		関本 充史(かなえるリハビリ訪問看護ステーション)
訪問リハビリテーションの実践事例(精神障害領域)	3		関 晋太郎(医療法人三家クリニック みつや訪問看護ステーション)
講座(計)	13	—	
講座名【生活期の疾病理解】			
生活期と称される疾病の維持期、在宅療養における病態の理解を深める。			
認知症の理解と対応(在宅、若年)	3		沖田 裕子(NPO法人認知症の人とみんなのサポートセンター)
認知症の理解と対応(施設、高齢者)	3		田中 寛之(大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科)
運動機能の加齢変化	3		樋口 由美(大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科)
			岩田 晃(大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科)
栄養状態、摂取の加齢変化	2		大関 知子(大阪公立大学大学院 生活科学研究科)
発達障害のある子どもの理解、対応	3		立山 清美(大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科)
			中岡 和代(大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科)
脳性麻痺児・者の理解、対応	1		米津 亮(東京家政大学 健康科学部)
講座(計)	15	—	

106

14

計120時間